

令和3年2月22日

同窓生各位

学校法人星美学園
理事長 鈴木 裕子
目黒星美学園中学高等学校
校長 若松 悠紀子

学校改革に関するお知らせ

早春の候、皆様にはご健勝にてお過ごしのこととお喜び申し上げます。平素より本校の教育活動にご理解・ご協力をいただき、まことにありがとうございます。

さて、この度皆様に本校開校以来ともいえる学校改革について、下記の通りお知らせします。

記

1. 令和5年度入学生より共学・2コース制とする
2. 令和5年度より校名を「サレジアン国際学園世田谷中学高等学校」に変更する
3. 令和4年度より週6日制とする

以上

本校は1960年に中学校を創立、63年には高等学校を開校し、以来女子教育を柱とした人間教育に力を注いでまいりました。しかしながら、21世紀の今日の社会の状況は、学校創立時から大きく変化し、個性の尊重とともに、男女協働の取り組みなど、誰もが自由で対等に活躍できる社会の創出が求められています。

世界に目を向けますと、急激なグローバル化、AI・ロボットテクノロジーの進展の中で、社会経済環境が大きく変わり、新しい社会は、先例のない未知の問題・課題との遭遇と、その解決を迫られることが日常化していきます。その中で生きていく子どもたちには、単に言語的な理解だけでなく、他者の背景や考え方も深く理解できる力が必要となっていきます。

本校では、この大きな転換期を見すえ、創立者ドン・ボスコの教育方針を基にしながらも、より多様性に富んだ学習環境の中で、一人ひとりの個性を磨き上げるため、学校改革を進めて参りたいと思います。皆様におかれましては、今後の本校の教育活動の展開に何卒ご理解をいただきますよう、よろしくお願いいたします。